

事例

## 6 ホットスタンプ機の導入による 時間外労働の短縮



企業概要 [所在地] 栃木県 [従業員] 37人 [事業内容] 印刷・関連産業

背景

### ホットスタンプ機不足による労働時間の増加



課題

いわゆる「箔押し」と呼ばれる、プラスチック成型部品への金属製箔の貼り付け作業において、製品を機械に都度セッティングする必要があり、受注が集中した際にはホットスタンプ機が2台だけでは作業効率が悪く、時間外労働が発生していた。



必要としていた対応

ホットスタンプ機を増設し、業務効率化と時間外労働の削減を図りたいと考えていた。

取組の内容と成果

### ホットスタンプ機増設により労働時間短縮



内容

ホットスタンプ機を新たに1台導入した。

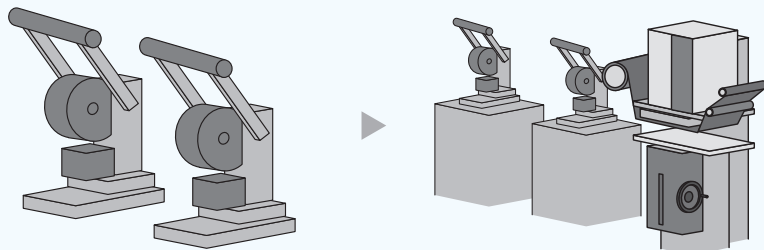


成果

さらに分散してセッティングし、貼り付け作業ができるようになり、1時間あたりに製造可能な個数が1.5倍になった。このため、貼り付け作業後の製造工程、出荷作業に従事している従業員の時間外労働が1日2～4時間から、1～2時間に短縮された。また、時間外労働が短縮されたことで、半年間で人件費が16万円削減された。

成果目標

- ・時間外・休日労働時間数を縮減し、月60時間以下に上限を設定
- ・時間当たりの賃金額を(5%)引上げ



改善の  
OnePoint

今回の助成で労働時間は短縮されたが、求人時の賃金額高騰により経験者採用が難しく人手不足の状況にある。人材確保に向けた資金調達のために、売上を伸ばしていきたい。そのために、近年の廃プラスチック製品離れを打開する製品づくりに取り組んでいる。